

第1章「現況と課題」について寄せられた意見

「5 社会教育に関する現況と課題」に関する部分（P17～P24）

「3 幼児教育・学校教育に関する現況と課題（6）地域と学校の関係」に関する部分（P8～P11）

- ・ P11「学社連携・融合の取り組み」については、関連する組織がもっとたくさんある。学校教育推進会議、地域教育会議など、各区レベルで何の組織をコアにしていくのかを、よく検討しておく必要がある。
- ・ P17「(1)生涯学習」の1行目、「教育文化会館・市民館～」は最後に「等」をつける。P18「(2)地域の教育力向上を図るネットワークシステム」については、地域教育会議のことしか書いてないが、いいのだろうか。民間の教育事業やその他のことについても触れておくべきではないか。社会教育専門部会の重点施策に出てくるネットワークの話につながるような視点はなくていいのだろうか。
- ・ P19～P20「その他の施設」の部分には、青少年施設のことしか書かれていないが、学校施設の活用の話なども書いたほうがいいのではないか。
- ・ P20～P21「受益者負担のあり方」については、講座受講料の話などは入れないのか。
- ・ P22「(1)総合型地域スポーツクラブ設立の促進」については、文科省で策定されたからではなくて、スポーツ振興審議会を前面に出して、川崎は独自に考えて取り組んでいるという書き方でいいのでは？全国的な傾向については最後にふれればよい。

全体的に...

- ・ 学校教育と社会教育の重なった部分は整理が必要。
- ・ 生涯学習の領域かどこかで「子どもの学校外活動（青少年地域間交流事業）等」を現況と課題に入れるべきでは？
- ・ 実際に読んでみると、現況と課題の記述が必ずしも明確ではなく、方向性や対策について書かれている部分も多々あります。方向性や対策については後に続く章で記述することであると思われますので、ここでは、現況と課題についてのみ整理し記述された方が構成上好ましいと思われます。全体的に修正が必要な気がしました。